

vol.46

つつみこむ

2026年2月4日（水）19：00開演

フランセ

小四重奏曲

ラヴェル=W.エリオット

マ・メール・ロワ(九重奏版)

ラインベルガー

九重奏曲

◆出演

小林 壱成(ヴァイオリン)

井野邊 大輔(ヴィオラ)

三宅 進(チェロ)

助川 龍(コントラバス)

芦澤 暁男(フルート)

西沢 澄博(オーボエ)

鈴木 雄大(クラリネット)

西口 真央(ファゴット)

齋藤 雄介(ホルン)



九重奏は、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルンという9人で成立し、最もオーケストラに近い室内楽編成と言えます。

ベートーヴェンの「七重奏曲」、シューベルトの「八重奏曲」の誕生した古典からロマン前期にかけて、シュポア、ラハナーが書き、そしてブラームスとほぼ同時期にミュンヘンで活躍したラインベルガーが、個々の楽器の多様性を存分に楽しみあえるこの作品を生み出しました。

そしてこの回には、ラヴェルの管弦楽曲「マ・メール・ロワ」を同編成でお楽しみ頂くほか、多彩な編成で大量の作品を生み出した天才フランセによるフルート、オーボエ、クラリネット、ファゴットによる小四重奏曲もお届けします。それぞれ名手が揃います。Music from PaToNaにも何度か登場しては「おかえり」と言われている東京交響楽団コンサートマスターの小林壱成さんをはじめ、東京フィルハーモニー交響楽団からは、元仙台フィルの仲間であった齋藤雄介さんが久しぶりに登場。シーズンラストに、プチ・オーケストラの愉しみを、満喫してください。